CHALLENGE

SIT芝浦

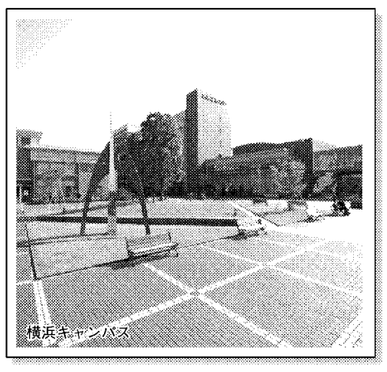
～社会と世界に学び、貢献する
実践型人材を目指して～

お問い合わせ先
芝浦工業大学
複合領域産学官民連携推進本部

●連携コーディネータによる技術相談は無料です。お気軽にお問い合わせ下さい。
〒135-8548　東京都江東区豊洲3-7-5
TEL 03-5859-7180 / FAX 03-5859-7181
http://www.shibaura-it.ac.jp/
E-mail:sankangaku@ow.shibaura-it.ac.jp
東京メトロ 有楽町線／ゆりかもめ　豊洲駅より徒歩10分
JR京葉線　越中島駅より徒歩15分

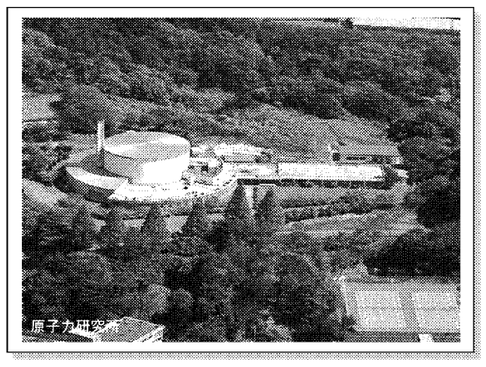
簡易受託いたします！

「簡易受託研究」とは1件50万円以下の委託試験、調査、分析、技術指導・相談です。


横浜キャンパス

世田谷キャンパス

等々力キャンパス


原子力研究所

総合研究所

(旧 武蔵工業大学)
東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

産官学交流センター　〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1
TEL：03（5707）0104内線2241　FAX：03(5707)2128
E-mail：sangaku@tcu.ac.jp　ホームページ：http://www.tcu.ac.jp/

産学連携・人材育成に力を入れる大学

〈順不同〉

芝浦工業大学

82年の実学教育を伝統とする芝浦工業大学は、科学に裏付けされた工学を社会と世界の諸相を通して学び、その諸問題の解決に貢献する実践型技術人材の育成を目指している。これらの実現の要は、「工学教育」「技術革新を目指す研究」「社会・経済的価値創造（イノベーション）」三位一体推進にある。推進のエンジン役として複合領域産学官民連携推進本部を置き、広域大学間で活発な連携を行っている一方、東京の下町にある中小企業の工場技術を結集させた深海探査ロボット「江戸っ子1号」の開発プロジェクトに参画するなど、地元中小企業との連携強化・地域の技術的課題への対応にも力を入れている。

また、学生の企業インターンシップによる「ものづくりイノベーション」への参画、技術経営（MOT）教育研究の産学連携への活用なども行う。

東京電機大学

東京電機大学は、理工系総合大学として幅広い分野の研究を行っている。大学発の研究が企業との懸け橋になるよう、さまざまな機会を設けている。来年4月の東京千住キャンパス誕生に先立ち、リエゾン・インキュベーション施設を北千住に開設。地域連携の推進と技術移転・事業創出の支援に努める。

埼玉鳩山キャンパスにはTDU産学交流会がある。同交流会では勉強会や企業見学会および技術発表会を行い、会員である地元企業との交流を深めている。

千葉ニュータウンキャンパスでは印西市とNPO法人、いんざい産学連携センターを設立し、地元企業と交流会・研究会を重ねている。

このような産学連携活動やコーディネーターとの技術相談を通じて、昨年度は100件の研究を受託した。

日本工業大学

日本工業大学の「産学連携起業教育センター」は、産学連携活動の推進に加え、起業家精神を持つ人材育成にも率先して取り組んでいる。

その一つが毎年開催している学生起業家育成支援プログラム「ビジネスプランコンテスト」。日本工業大学の学生・大学院生を対象として関連授業を行い、新しい事業プランのアイデアを募る。5回目の開催となった昨年、上位入賞者2組は日刊工業新聞社主催の2010キャンパスベンチャーグランプリにも応募した。そのうち日本工業大学専門職大学院生の原顯寛氏が東京大会で大賞を受賞、全国大会に進み、応募総数790件の頂点の一つであるテクノロジー部門大賞、文部科学大臣賞に輝いた。もう1組の機械工学科の学生グループも東京大会のテクノロジー部門優秀賞を受賞。同学の起業家育成教育の成果がうかがえる結果となった。

帝京大学

帝京大学理工学部（宇都宮キャンパス）の機械・精密システム工学科では、実践を通して論理的な思考を身につける「実学」の教育指針の下、自動車を対象としたオートモビル・テクノロジー・コース（ATC）を設けている。多くの技術分野で構成される自動車を具体的に学び、自動車だけでなく、多彩な分野に対応できる技術者になるための人材を育成する。

ATCは国家資格である二級自動車整備士の養成施設としての内容も含まれ、自動車整備を実習授業で行う。学生は自分で分解し組み立てることで基本機能や目的機能を理解する。設計・製造と製品整備という、両面から考える能力を養う。

2010年度のATC二期卒業生は二級ガソリン自動車整備士の資格取得率100％を達成し、自動車メーカーや自動車各種部品の専門メーカーへ就職した。

神奈川大学

神奈川大学は研究支援部が中心となって産学官連携を推進している。その産学官連携は「理学部、工学部が個別に受託開発するようなつながりから、近年は大学と企業、大学と大学、さらには大学と自治体といった形に変容している」と田口澄也研究支援部次長（産官学連携担当）は指摘する。

神奈川大学は神奈川県内の12の大学と公的産学連携支援機関6団体で構成する、かながわ産学公連携推進協議会に参加。神奈川県内の企業との結びつきを強めている。さらに地域との連携を一歩すすめ、神奈川区役所との連携推進協定を締結し、安心と活力のある地域社会の形成に寄与するため、さまざまな分野での協力を進めようとしている。

「産学官連携はブームの時期を過ぎ、代わって実を得る時期を迎えた」（田口次長）。企業が開発に費用対効果を強く求める時代に、神奈川大学の存在感も高まっている。

千葉工業大学

千葉工業大学は工業大学の特色を生かした産官学連携に積極的に取り組んでいる。その一つが1992年発足の「技術・情報振興会」。同会は企業や公共団体と教育研究・技術情報、就職情報などを交換し、大学が産業界や地域社会に貢献、発展することを目指してきた。同時に誕生した「技術・情報センター」の円滑な運営も支援している。

また、05年には「産官学融合センター」を発足させた。これは産学官連携や技術移転（TLO）など対外窓口を一元化し、知的財産管理業務なども集約することで、連携をより実効あるものにするのが狙い。中小企業をはじめ、大企業から多種多様な技術相談や国によるプロジェクトなどに対して、同センターでは教員を選定し、紹介する。同大では「年間80件以上の受託・共同研究が進んでいる」と話す。

新潟工科大学

新潟工科大学は1995年に開学した新潟初の私立工科大学で、県内の製造業が中心となって設立された特色ある大学である。

これらの支援企業は、現在県内外224社（2011年3月末時点）で組織された「新潟工科大学産学交流会」として、インターンシップの実施や就職支援など、教育の現場と企業の現場を最短距離にする同大の産学連携の中核となっている。

また、昨年11月には原子力施設の耐震安全に関する研究を行う「新潟工科大学原子力耐震・構造研究センター」が完成した。経済産業省の研究開発施設の整備事業として採択を受け、産学官連携で原子力施設の耐震研究や人材育成に取り組み、世界最先端の知見と情報を世界に向けて発信していく。

東洋大学

東洋大学川越キャンパスは今年で50周年。09年度より理工学部と総合情報学部として新たにスタートした。理工学部では「企業における実践力の養成」を旗印に、新設の生体医工学科など6学科に加え、副専攻の3コース（バイオ・ナノサイエンス融合、ロボティクス、地域学）を用意。総合情報学部では「システム技術のみならずITが利用される環境を総合的に学ぶ」ことを目指す。

09年度発足の産学協同教育センターでは、現代GPで培った中核人材育成事業を継承し地元中小企業向けの技術講座を提供。また、経済産業省からの委託事業で技術系学生向け社会人心得「社会人力ノート」を作成し、モノづくりを志す人の「望ましい行動規範」を解説するなど「企業、学生」双方に向けた教育活動を展開している。

東京都市大学

東京都市大学は2009年4月に「武蔵工業大学」から名称を変更した。同時に既存の工学部と知識工学部、環境情報学部に加えて、新たに都市生活学部都市生活学科と人間科学部児童学科を新設した。「産官学連携」では、00年4月に設立した産官学交流センターで、官公庁、民間企業との交流を通じ、さまざまな研究プロジェクトを推進している。

また、10年3月に東京大学生産技術研究所と学術連携に関する覚書を、11年2月には横浜市水道局と連携・協力に関する基本協定を締結し、他機関との連携による研究体制の強化を図っている。

このほかの活動としては、通常の受託研究契約による「一般受託研究」のほか、1件50万円以下の調査、分析、技術相談・指導などを簡便な手続きで行う「簡易受託研究」がある。

2011年3月　機械・精密システム工学科卒業
オートモビル・テクノロジー・コース　2期生
二級ガソリン自動車整備士
資格取得率100%（全部免除申請対象）

宇都宮キャンパス

才能を開花させるため気づきを与える環境として「実学」の場をご用意しています。

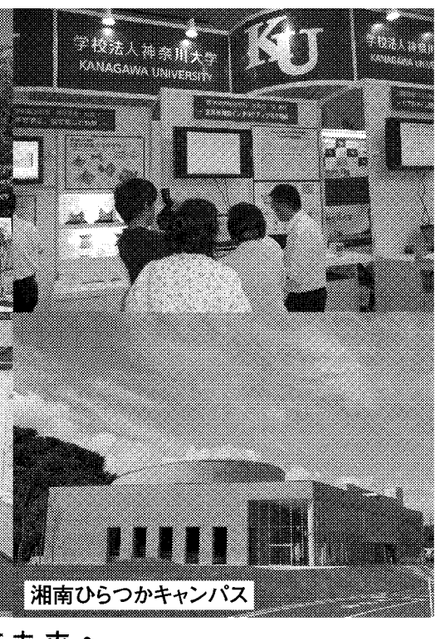
〈経済学部〉　地域経済学科
〈理工学部〉　機械・精密システム工学科
航空宇宙工学科
ヒューマン情報システム学科
バイオサイエンス学科
情報科学科通信教育課程
〈医療技術学部〉　柔道整復学科
〈大学院〉
理工学研究科　総合工学専攻
博士前期(修士)課程
博士後期課程
理工学研究科(通信教育課程)情報科学専攻
修士課程

帝京大学 TEIKYO
〒320-8551 宇都宮市豊郷台1－1　TEL 028－627－7111(代表)
URL http://www.teikyo-u.ac.jp　E-mail somu@riko.teikyo-u.ac.jp

神奈川大学は、優れた研究に基づく発想力・技術力・開発力で、より良い社会づくりに取り組んでいます。

産学、産官学、学学、そして地域との連携・協力を積極的に推進します。

横浜キャンパス


湘南ひらつかキャンパス

工学部
（横浜キャンパス）
・機械工学科
・電子情報フロンティア学科
・物質生命化学科
・情報システム創成学科
・建築学科

理学部
（湘南ひらつかキャンパス）
・総合理学プログラム
・情報科学科
・化学科
・生物科学科

KU 世界へ、そして未来へ
神奈川大学
http://www.kanagawa-u.ac.jp/

■横浜キャンパス　〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL 045-481-5661(代)
■湘南ひらつかキャンパス　〒259-1293 平塚市土屋2946
TEL 0463-59-4111(代)
産官学連携推進課　sankangaku-web@kanagawa-u.ac.jp